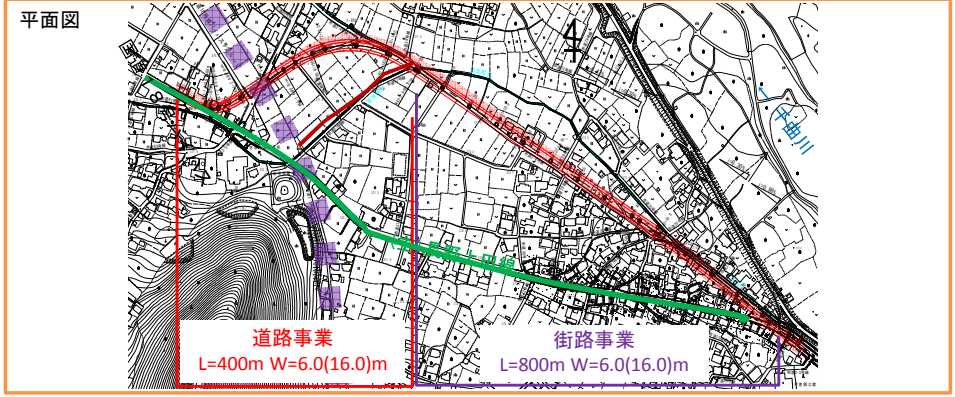
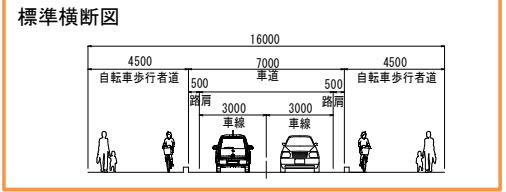


(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		県単道路改築事業		路河川名等		(主)長野上田線		
事業毎の通番		16	市町村名	千曲市	箇所名(ふりがな)	若宮(わかみや)		
事業概要	事業目的	当路線は、長野市と上田市を結ぶ主要な幹線道路であるとともに、震災時の救命活動や物資輸送を担う緊急輸送路(第二次)の指定路線となっている。また、長野道姨捨スマートインターチェンジと県内有数の観光地である戸倉上山田温泉とを結ぶ観光支援の道路である。 現道は狭隘で歩道も未整備のため、通過車両と歩行者等の接触事故が発生するなど、交通安全上大変危険な状況となっている。本計画は、道路事業及び街路事業で北側にバイパス整備を行い、安全で安心な住環境を整備するとともに、通過交通を円滑に誘導することにより地域の活性化が期待できるものである。						
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等		道路法		
	関連する事業、計画等	千曲市都市計画マスタープラン、国道18号坂城更埴バイパス						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量 5,987台/日						
	着手年度	平成30年度	事業期間	8年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成37年度	費用対効果	1.5	国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=400m、W=6.0(16.0)m			470,000		423,000	47,000
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少 災害に強い道路					
		間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 観光地の周遊性の向上、集客増					
	評価の視点	必要性	○計画交通量 : 5,987台/日 ○代替道路の有無 : 現道あり(狭隘、歩道なし) ○医療・福祉・教育施設との連携 : 更級小学校への一次アクセス ○交通結節点アクセス : 姨捨SICへの二次アクセス ○観光振興・地域の活性化 : 地域の骨格をなす道路、姨捨SICから戸倉上山田温泉へのアクセス道路					評価
重要性		○関連計画、重点施策との整合 : 千曲市都市計画区域マスタープラン、国道18号バイパス ○緊急輸送道路の路線指定 : 県緊急輸送路(2次)に路線指定 ○地域指定 : 信州観光圏(千曲市)					評価	A
効率性		○費用便益比(B/C) : 1.51 ○事業期間 : 8年間 ○工法等の比較検討 : 今後検討予定 ○他事業との連携 : 街路事業(若宮線)、戸倉上山田温泉街づくり					評価	B
緊急性		○近年の交通事故件数 : 人or自転車×自動車事故発生 3件以上 ○道路環境改善 : 局部的渋滞の解消 ○歩道整備 : 現道歩道なし、通学路対策 ○現況の車道幅員、半径、勾配 : 車道幅員5.0m					評価	B
計画熟度		○事業情報の共有 : H29.6 関係者を中心に周知(地区役員へ計画説明、地元説明会)					評価	B
		○地域の取り組み : H29.10 協力的である 地域づくり懇談会で市から強い要望有り ○地域の合意形成 : H29.6 地元説明会により事業目的について合意を得ている ○住民との協働 : なし						
所管課意見	事業の必要性、重要性が高いため、平成30年度から事業化したい。					採択状況	総合評価	B
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。							

事業概要説明図表



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、長野市と上田市を結ぶ主要な幹線道路であるとともに、震災時の救命活動や物資輸送を担う緊急輸送路(第二次)の指定路線となっている。また、長野道姨捨スマートインターチェンジと県内有数の観光地である戸倉上山田温泉とを結ぶ観光支援の道路である。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	当区間は第一種住居地域内を通過しており、現道は幅員狭小で歩道も未整備のため、通過車両と歩行者等の接触事故が発生するなど、交通安全上大変危険な状況となっている。また、付近に更級小、上山田中があり通学路にもなっていることから、歩行者の保護が求められている。このため、H27以降、毎年、千曲市地域づくり懇談会で地元要望がある。
③事業説明等の経緯	H27.8 計画について役員説明実施、周辺地権者には測量立入の際に回覧により周知 H29.5 役員説明会実施 H29.6 地元説明会実施
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	大正橋から本事業区間までは、過年度街路事業(八王子)により整備済み。また、戸倉方面へのアクセスは、戸倉倉庫から国道18号までの間を街路事業(上中町)によりH29年度に整備が完了する予定である。このため本事業区間も早期の事業化が求められている。また、国道18号坂城更埴バイパス整備も地元から要望されている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	ルート選定により、極力周辺環境への影響を少なくし、周辺の景観を維持する。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、付近の観光施設等へのアクセス性の向上による地域の観光産業への支援効果が期待される。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 29' 25" 東経:E 138° 08' 15"